

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（加沼 成美）

使用教科書：（「高校生の地理総合」帝国書院）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらに基づき議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べま	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題に向けて構想	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	緯度・経度の意味を理解し、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解する。 日常的に使われているGNS SやGISなど、新しい地図表現の役割を理解し、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。	1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界	地球上の位置の示し方や時差の考え方を身につけている。 GISのしくみと身の回りで活用されている具体例を知識として把握している。 地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、考えることができる。	○	○	○	9
	国家とは何かを学習し、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか、理解する。 人・「モノ」・資本の移動による国家間の結びつきや、それらの課題を理解し、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学習する。	2章 結びつきを深める現代世界	日本の領域と周辺諸国との間に抱える領土問題について理解している。 単に交通・情報・通信手段の発達に目を向けるだけでなく、それらがどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができる。	○	○	○	7
	写真から地理的環境を読み取り、世界は地理的環境の影響を受けた特徴ある景観で成り立っていることを学ぶ。 人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。	2部 国際理解と国際協力 1章 生活・文化の多様性と国際理解	世界の人びとの特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	○		○	2
2 学 期	世界の特色ある生活文化は、グローバル化のもとで新たな変化が生じていることを学習する。	2部 国際理解と国際協力 1章 生活・文化の多様性と国際理解	世界の人びとの生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○	6
	5つのPの枠組みを活用して、持続可能な開発目標の考え方を学び、地理で学習する地球的課題が強化をこえた探究的な課題につながることを理解する。	2章 地球的課題と国際協力	世界各地で見られる地球環境問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。	○			6
	現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題といった具体的な事例を通して理解する。	2章 地球的課題と国際協力	世界各地で見られる人口・食糧問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	6
	現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、居住・都市問題、資源・エネルギー問題といった具体的な事例を通して理解する。	2章 地球的課題と国際協力	世界各地で見られる居住・都市問題、資源・エネルギー問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	6
	現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、地球環境問題などの具体的な事例を通して理解する。	2章 地球的課題と国際協力	世界各地で見られる地球環境問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	6
一定地域の地理的環境と深く関連し、長い歴史をおとして育まれた民族性について理解した上で、現在発生している民族問題の解決に向けた取り組みを提案することができる。	2章 地球的課題と国際協力	世界各地で見られる地球環境問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。	○		○	6	

3 学 期	日本は変化に富んだ地形や気候をもち、様々な自然災害が多発することから、早くから自然災害への対応に努めてきたことなどを、具体例を通して理解する。	3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災	我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。	○		○	7
	地形図やハザードマップなどの主題図の読図など、日常生活と結びついた学習を通して、防災意識を高める。	2章 生活圏の調査と地域の展望	生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		○	○	7
							合計 68